とし、慈を以てこれを衛る。 て戦えば則ち勝ち、以て守れば則ち固し。天将にこれを救わんたたか、すなれ、か、もっまも、すなれ、かた、てんまさ、すく す。今、慈を舎てて且に勇ならんとし、倹を舎てて且に広からんと に能く広く、敢えて天下の先と為らざるが故に能く器の長 を成 我に三宝有り、持してこれを保つ。一に曰く慈、二に曰く倹、三にまれ こくにょ 天下皆我を大なるも不肖に似たりと謂う。夫れ唯大なり、てんかみなわれだい。ふしょうにいいいる。ただだい 不肖に似たり。若し肖ならば、久しいかな其の細なるや。 曰く敢えて天下の先と為らず。慈なるが故に能く勇、倹なるが故 し、後なるを舎てて且に先ならんとすれば、 ひろ まさ まさ てんか 死せん。夫れ慈は、以

【大体の意味内容】天下の人々はみな、私だいたい、いみないよう てんか ひとびと おたし のことを「大人物だが大馬鹿者みたいでもある」

という。確かに細かなことにはとらわれずいつでも「大」の字になっているような無防備

な生き方だから、「大馬鹿者」にも見えるだろう。もし「有能」なものとして振る舞っていい かん おおばかもの み ま

賢しらな「小才子」として、せこせこと生きているのだろう。

騙されやすいお人好しで、なぜだか人に尽くしてしまうところである。ヒッッ゚゚ 第二は「倹だいに つづま

で、贅沢とは無縁、 「失うもの」のない清貧なる倹朴さである。そして第三は、天下人と うしな

に立ってなおかつ怯まないような、 体内から湧き出る力としての勇(=湧)が発揮されたいない ゎ で ҕから ゅう はっき

失うもののない「倹しさ」を知っていればこそ、 どのような大事業にも乗り出す度胸がだいじぎょうのでで、どきょう

備わる。自分が先頭に立とうとはしないから、人々は伸び伸びと、自分の器量・才能を発揮をなわり、こぶん せんとう た

成長することができるのだ。 いま、「慈、 しみ」を捨てて勇猛に突進したり、

を捨てて大儲けをしようとしたり、「後」からサポートする役目を捨てて先走ろうとすれば

・ おおもう

遠からず滅びることになろう。「慈ヒッ゚ しみ」を以て戦えば敵対するものも矛を収めるし、

天もまたこれを救おうと、 慈徳発動して衛ってくださるのである。

勝ち残ることが優先され、「慈しみの心」などと甘いたわごとをほざいてる場合ではないと、否定さ たことは、現代と似通っていたのかもしれません。弱肉強食で他者をだましてでも自分(たち)が のものではなく、むしろマイナスのものだったのでしょう。案外、そのころの人々に求められてい あえて「三宝」として挙げられている「慈」「倹」「後」は、 老子の時代にあってはプラスイメージ

とが求められていたことでしょう。そのような時代の要請に対して、老子は得意の逆説的論法で、 あるべき生き方の真理を浮き彫りにしたのだと思われます。 の中の変化に乗り遅れないよう、強力なリーダーシップを発揮しトップランナーとして疾走するこ が出ても「するべきことを優先する」などもってのほか、とされていたかもしれません。そして世 れていたのでしょう。また事業を拡大し勝ち残っていくためにも「費用対効果」が重視され、

見や感じ取り方があって、 の時代において求められることに従うべきだというのも、一理はありそうですが、私たち人間には、 何が人間にとって本当に必要で、自然な在り方なのか。それは突き詰めようとしても百人百様の意 統一的見解やスタンダードを確定することはできない、 だからその時そ

理屈では説明のつかない意識の偏執性があったり、 虚飾や作為のない本源的志向というものがい
サッピッペ セ ヘ ス

つの間にか働いたり表出されてきたりします。

様々な災害が起きたときの助け合いや譲り合いの知恵、水泳の池江璃花子さんの白血病報告をきっ かけに骨髄バンクへの追い風が吹いたり、闘病者全体への応援ムードが沸き起こったり、 理屈を超

越したところで誰も 抗 えないモラルが成立します。

ような、 それを堂々と、 まれてしまいますが、老子はそうした本質的なことに、平常から素直に従うべきだと述べているわ 結晶するような事態も発生するわけです。 のが人間存在の因果なところかもしれません。歯の浮くような理想論に過ぎないと笑われようとも、 けです。これほど単純素朴で平凡な立場もないはずです。ですが、それが最も困難を極めてしまう あるかのように思いこんでいます。それが非常事態においては最も純朴な「道徳」の潮流に呑み込 損得勘定中心の生活をして、それがあたかもこの世におけるレベルの高い高級な生き方で 様々な価値観や倫理が、ある大きな動揺によっていやおうなしに特定の一点に集結し 遠慮なく述べ立てるのが、 しかし私たちは、普段はこうした大いなる働きに反する 老子の真骨頂なのだと思いました。